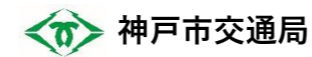




**BE KOBE**  
神戸は、人の中にある。



# 職員採用

## 交通事務職

新たに2023年採用から募集する  
神戸市営交通事業の経営を担う職です

### 勤務条件

【勤務時間】 平日8：45～17：30（注）  
【休日】 国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日）（注）  
【休暇】 年次有給休暇、夏季休暇、結婚休暇など  
（注）現場勤務時には、勤務時間・休日は上記に関わらず  
現場勤務ローテーションにより4週8休の取扱いとなります

### 採用試験

【採用区分】 大学卒  
【試験区分】 交通事務  
【選択区分】 大学卒一般枠（総合事務区分）と同内容  
【一次試験】 令和4年6月  
※ 詳しくは神戸市の採用試験案内をご覧ください

### 最新情報の発信



【採用試験に関すること】

神戸市職員採用ホームページ

<https://www.city.kobe.lg.jp/information/shokuinsaiyou/saiyou/index.html>



【交通事務の勤務内容等に関すること】

神戸市交通局職員採用ホームページ

<https://www.city.kobe.lg.jp/a23953/shise/shokuinsaiyou/kotsu/index.html>





神戸市交通局は、地方公共団体（神戸市）が経営する公営企業です。「市民の足の確保」など公共交通の意義・役割を発揮し、安全性の強化や利用者の利便性の向上、乗客増対策や付帯事業の収入増対策など、様々な課題に対応し、将来にわたり安定的なサービスを提供していくことが求められています。また、交通局の現在の本庁部門勤務職員は、全市の人事配置によって数年ごとに人事異動が行われることから、長期的に交通事業運営に携わり、ノウハウを蓄積し専門性を高めていく人材も必要不可欠となっています。

そのような課題がある中で、今後の交通局を支える交通事業に精通した人材育成のため、「交通事務」を新設し、局の根幹となる施策立案や事業計画の策定、乗客数・収益力の向上のための事業運営等に従事していただきます。局全体を把握する必要があるため、採用後は現場勤務を行い、実際のお客様対応の最前線を体験します。なお、地下鉄乗務<sup>※1</sup>のため運転研修受講後、高速鉄道運転免許<sup>※2</sup>についても取得し、実際に運転業務を行い、その後助役（自動車部門であれば運行管理者）という乗務員等の現場職員をまとめ、指導・監督する立場を体験します。概ね3年の経験を積んで、採用4年目から本庁部門で現場従事経験を活かしながら、さまざまな業務を担っていきます。

※1乗務業務においては、乗務適性検査にて適性がある者に限る  
 ※2 動力車操縦者運転免許



**神戸市交通局トップメッセージ**

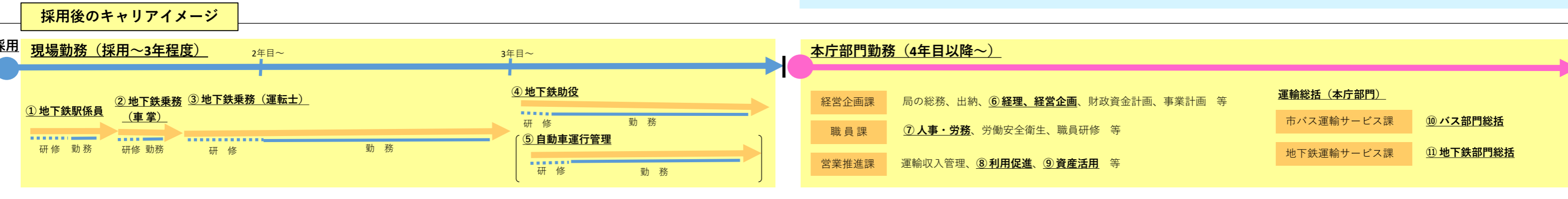
神戸市交通局は、1917年(大正6年)に神戸市電気局として市電の営業を開始し、100年を超える伝統のある局です。市バスでは年間6,000万人、地下鉄では年間1億人のお客様にご利用いただいています。

昨今、社会情勢が大きく変化していくなかで、交通局の存在意義、使命は「神戸の市民生活やまちの発展への貢献」をしていくことであり、神戸の交通インフラの主軸として、将来を見据えた事業運営が求められています。

この度、新設した「交通事務」職は、そのような使命を理解し、公共交通事業の経営に携わる職です。交通事業運営に興味・関心があり、熱意を持ってチャレンジしていく人材を求めています。

共に、神戸交通の未来を創っていきましょう。

神戸市交通事業管理者  
 城南 雅一（2021年着任）



**現場勤務の主な仕事**

**① 地下鉄駅係員**



駅務統括所 西神中央管区 岡田 慶伸 (2021年採用)

駅係員業務は、駅窓口で各種乗車券類の販売・払い戻し、さまざまな問い合わせへの対応のほか、ホーム監視・駅構内の巡視を行っています。また、適宜急病人対応、振替輸送のご案内など臨機応変に対応しています。お客様の「ありがとう。助かった!」という言葉をいただいた時は、とてもやりがいを感じます。

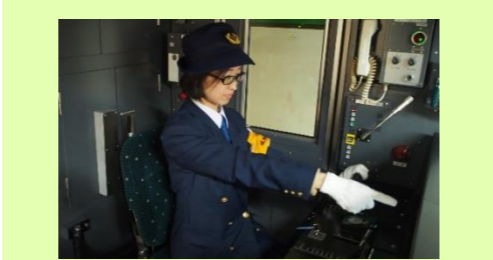
**② 地下鉄乗務 (車掌)**



運転統括所 名谷乗務区 馬場園 歩 (2018年採用)

車掌業務は、地下鉄車両の扉の開け閉め、出発時のホームの安全確認、車内放送や車内の状態を確認しながら、常にお客様に快適にご利用いただくことを意識して乗務しています。また、地下鉄は、早朝深夜にも運行しているため、健康管理にも充分注意しながら、安全運行に努めています。

**③ 地下鉄乗務 (運転士)**



運転統括所 名谷乗務区 柳瀬 祐里 (2008年採用)

地下鉄の運転業務は、何よりもお客様の安全を最優先に運転士としてハンドルを握ることです。また、定時制と速達性を確保するために定刻通り列車を出発させることも重要な役目です。その中で、ATCによる手動運転時は、乗り心地を考えたブレーキ操作やできるだけ揺れを抑えるような運転技術を習得するために、日々技術を磨きながら運転しております。

**交通局組織図**

- ・経営企画課
  - ・職員課
  - ・営業推進課
- 自動車部**
- ・市バス運輸サービス課
  - ・市バス車両課
  - ・営業所 (石屋川・中央・垂水)
- 高速鉄道部**
- ・地下鉄運輸サービス課
  - ・施設課
  - ・電気システム課
  - ・地下鉄車両課
  - ・運転統括所
  - ・駅務統括所

**④ 地下鉄助役 (乗務助役)**



運転統括所 名谷乗務区 中川 泰孝 (1996年採用)

乗務助役の業務は、一年中休むことのない地下鉄の運行のために、車両を運転する運転士ならびに車掌の管理を行います。日々の健康管理はもとより、乗務員の適性、知識、技能その他資質の保持および向上に関する業務を担当し、乗務員が安全に運転できるようにサポートします。安全で安心して地下鉄をご利用いただくために厳しい指導も必要ではありますが、安全運行が最大の使命であり、チーム一丸でその使命を全うできるように努めています。

**⑤ 自動車運行管理**



中央営業所 佐藤 仁 (2012年採用)

運行管理者の業務は、乗務割の作成、乗務記録の管理、運転士の指導管理、業務前後の点呼による運転士の疲労・健康状態の把握など多岐にわたり、交通事故を防止していく使命と責任が課されています。点呼等を通じて運転士の声に耳を傾け、積極的にコミュニケーションを図り、常に安全安心で風通しの良い職場環境を築けるよう努めています。

**本庁部門勤務の主な仕事**

**⑥ 経理、経営企画**



経営企画課 森田 莉奈 (2021年採用)

地下鉄事業の経理を担当しており、決算見込みの作成や予算管理のほか、交通局仕様の財務会計システムの運用管理を行っています。また、お客様満足度調査を実施し、求められているサービス等を把握し、よりよい事業運営を行っていただけるよう、データ分析作業にも力を注いでいます。

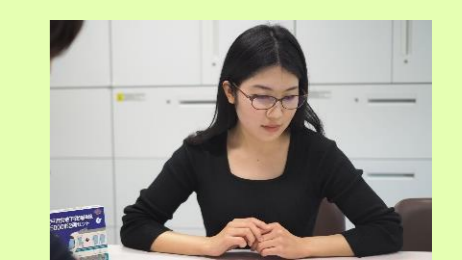
**⑦ 人事・労務**



職員課 水谷 恵一 (2018年採用)

毎月の職員の給与・手当の支給にかかる事務を主に担当しています。交通局は特に、多くの職種の方が働き、勤務形態も多々あるため、毎月支給誤りがないよう入念に確認を行っています。また、職員採用や人事異動時にも対象の方が円滑に諸手続きを進められるよう、課内で連携しあい対応することを心がけています。

**⑧ 利用促進**



営業推進課 小平 瑞希 (2014年採用)

お客様に快適に市バスや地下鉄を多くご利用いただけるよう、エコファミリー制度等の企画乗車券の運営を行っています。また、利用促進につながる様々なイベントの企画、それにかかるグッズの作成・販売なども行っています。イベントに参加いただいた方が「また参加したい!」とおっしゃっていただいた時にとてもやりがいを感じます。

**⑨ 資産活用**



営業推進課 資産活用係長 佐藤 麻子 (2000年採用)

市バス・地下鉄の広告媒体や、交通局が保有している資産（駅構内テナント・テナントビル等）の管理運営等にかかる事務を行っています。最近では、神戸市の駅再整備事業の一つとして、駅のリノベーション事業や駅ビル商業施設の運営会社の誘致、選定等の事務を行ってきました。事業者の方々との交渉が多いので、意思疎通を常に大切にしながら業務を行っています。

**⑩ バス部門総括**



市バス運輸サービス課 吉田 健 (2011年採用)

市バス事業運営にかかるさまざまな契約や経費の支出事務等を行っています。特に気をつけていることは、委託・直営に関わらずすべての路線で、均一にサービスを行えるよう、委託先・営業所と調整を適宜行うことです。バス運転士の乗車サービスのお褒めのお手紙をいただいた時は、自分のことのように嬉しい気持ちになります。

**⑪ 地下鉄部門総括**



地下鉄運輸サービス課 運輸係長 阪上 和也 (2000年採用)

地下鉄の運営全般に関し交通局内をはじめ、他部局、他の鉄道事業者との調整・情報交換などの対外的な業務を行っています。また、事故や異常が発生した場合の取りまとめ、現場のマネジメントに関することなども行い多様多様です。地下鉄開業から40年以上が経過し、安全で安定的な輸送サービスを今後も提供できるように、温故知新の精神で常に挑戦し続けたいと考えています。